



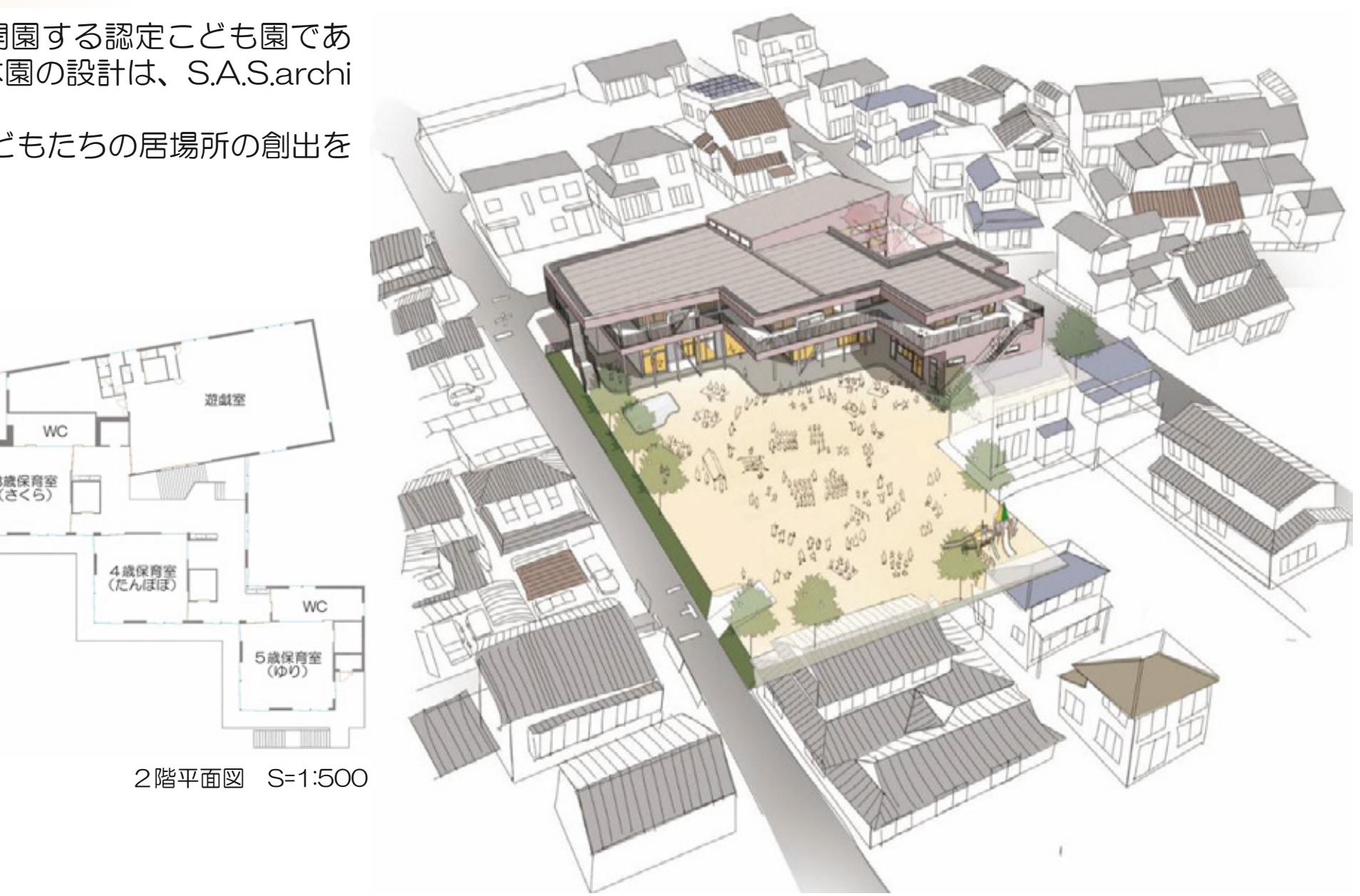
こざかいこども園を対象としたインテリアデザインの提案、 及び、こどもたちの居場所の創出

橋本雅好研究室 企画 梶野聖乃

概要

「こざかいこども園」は、愛知県豊川市に2025年4月から開園する認定こども園であり、豊川市から「社会福祉法人 清源会」へ民間移管される。本園の設計は、S.A.S.archiが担当している。

本プロジェクトでは、インテリアデザインの提案、及び、こどもたちの居場所の創出をS.A.S.archiと協働で行った。



背景

「橋本雅好研究室のこれまでの活動」と、「自分自身の想い」から、このプロジェクトに携わることにした。

橋本雅好研究室では、新たにできる「こざかいこども園」に、どのような空間やデザインを作ればこどもたちにとって楽しい、自分たちのこども園になるかを考えるワークショップ（2022年度）を、計3回実施した。そこで出たアイディアを活かしながら提案することを目標とした。

私は、こどものことが大好きで、いつかこどもたちのために何かしてあげたいという想いがあり、桜山女子学園大学に入学するときに、「大好きなこどものために遊び場を創る」という目標をたてた。

よって、先輩方の活動を引き継ぎ、自分自身の想いも現実にできると考え、協働プロジェクトに参画した。

インテリアデザインの提案

ワークショップの企画

※ワークショップごとに、かわら版を作成し、こども園の先生方に情報を共有した。

第1回（2024/7/10, 20）

目標：こどもたちの「遊び」や「学び」について検討する中で、家具の選定をしよう！

内容：現象説明、家具の選定、ニッチ/階段下のアンケート

第2回（2024/9/20）

目標：こどもたち、先生方みんなが親しみやすいこども園になるようを考えよう！

内容：現状説明、台形テーブルについて、ニッチについて意見交換、クラスの名前/色/ロゴ

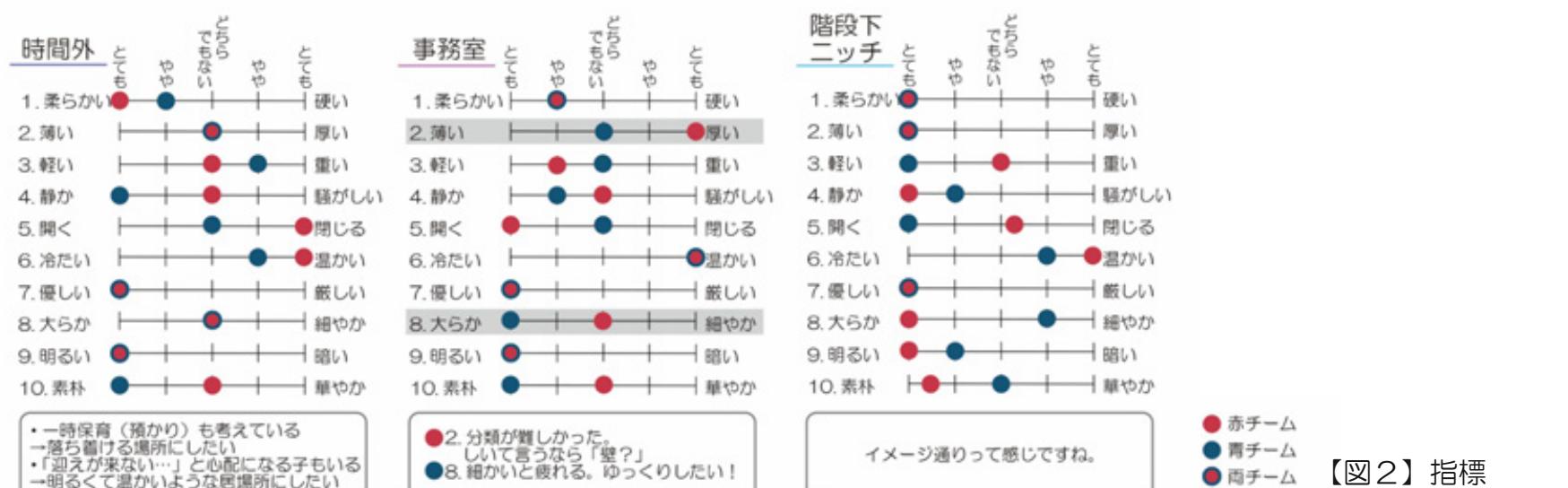
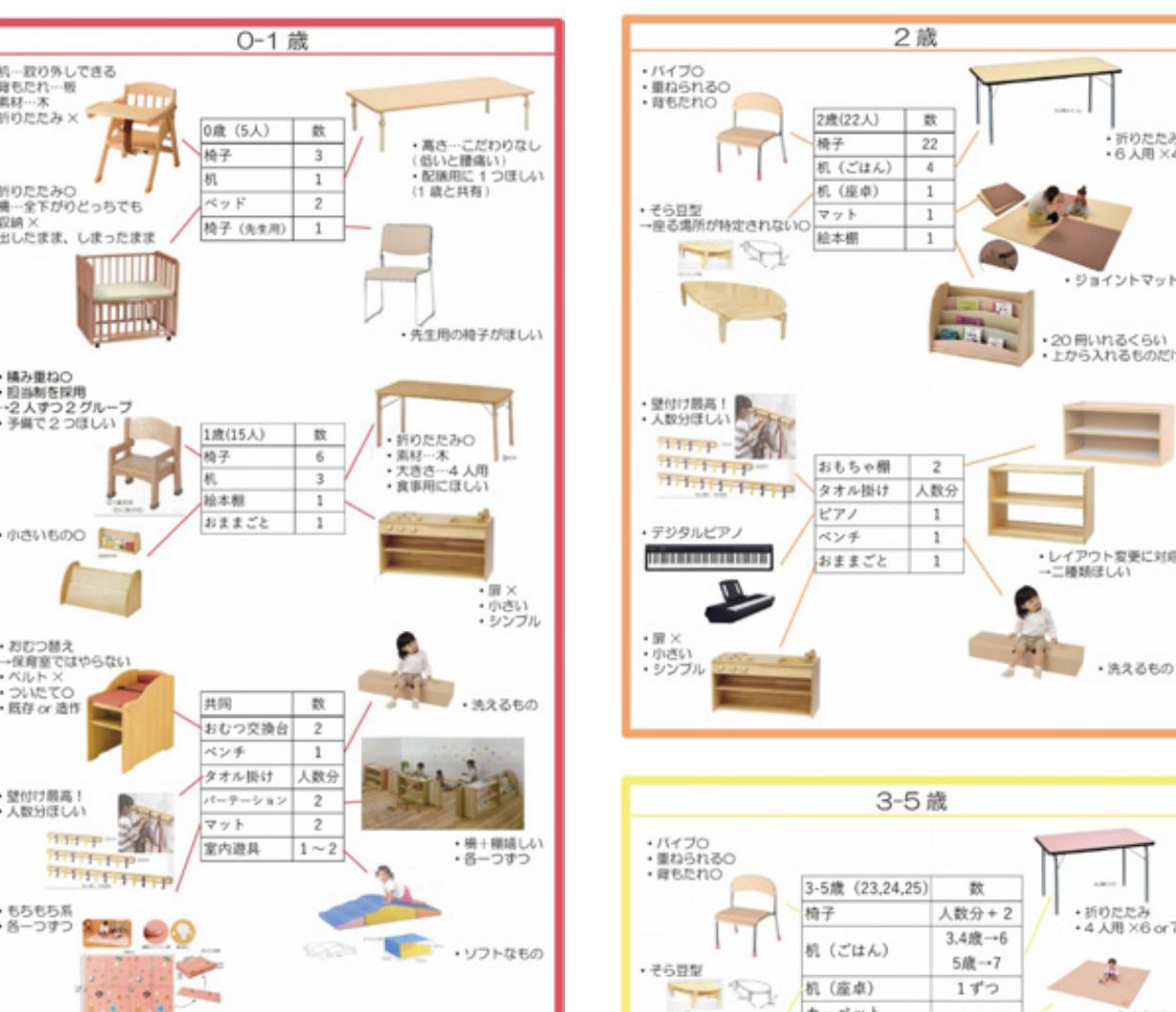
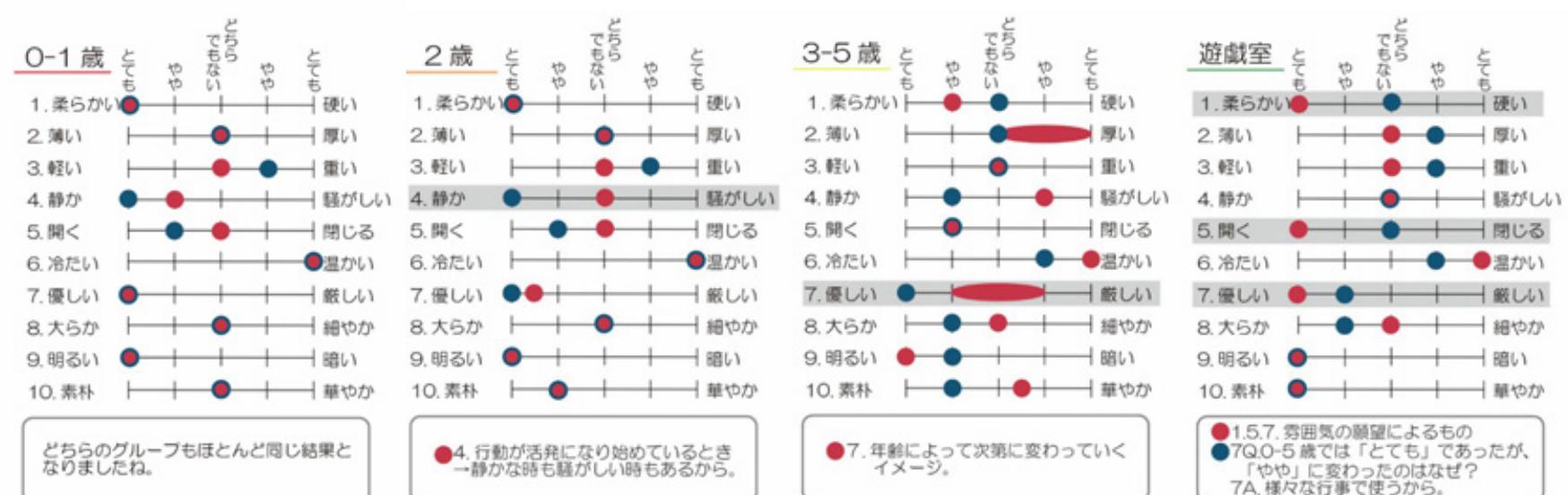
第3回（2024/11/15）

目標：こどもたち、先生方みんなが親しみやすいこども園になるようと考えよう！

内容：現状説明、全体の仕上げ（外観/内観）、鍵/管理のゾーニング、ニッチ/階段下の最終提案、クラスのロゴ

家具の選定

事前に、家具ごとに3-5個の候補を出し、一覧表【図1】を作成した。そして、第1回ワークショップ当日に、家具を置く7つの場所（0-1歳保育室、2歳保育室、3-5歳保育室、時間外保育室、遊戯室、事務室、階段下/ニッチ）のイメージ共有をするため、指標【図2】を用いて行った。そして、一覧表を元に、先生方と話し合い家具を選定した。



■おむつ収納棚について

形状を考え、設置場所を提案した。

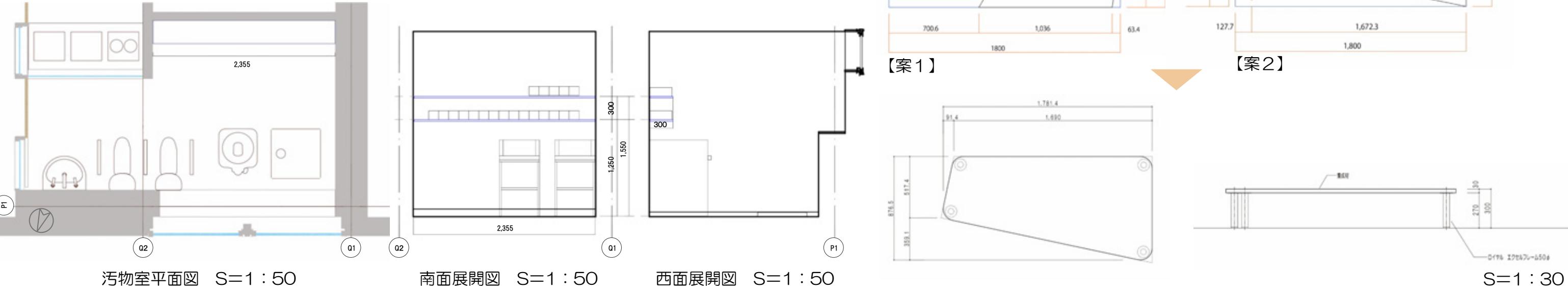
1)形状について

W130×D287×H115mmのケースに、おむつを収納することにした。

2)設置場所について (0-1,2歳)

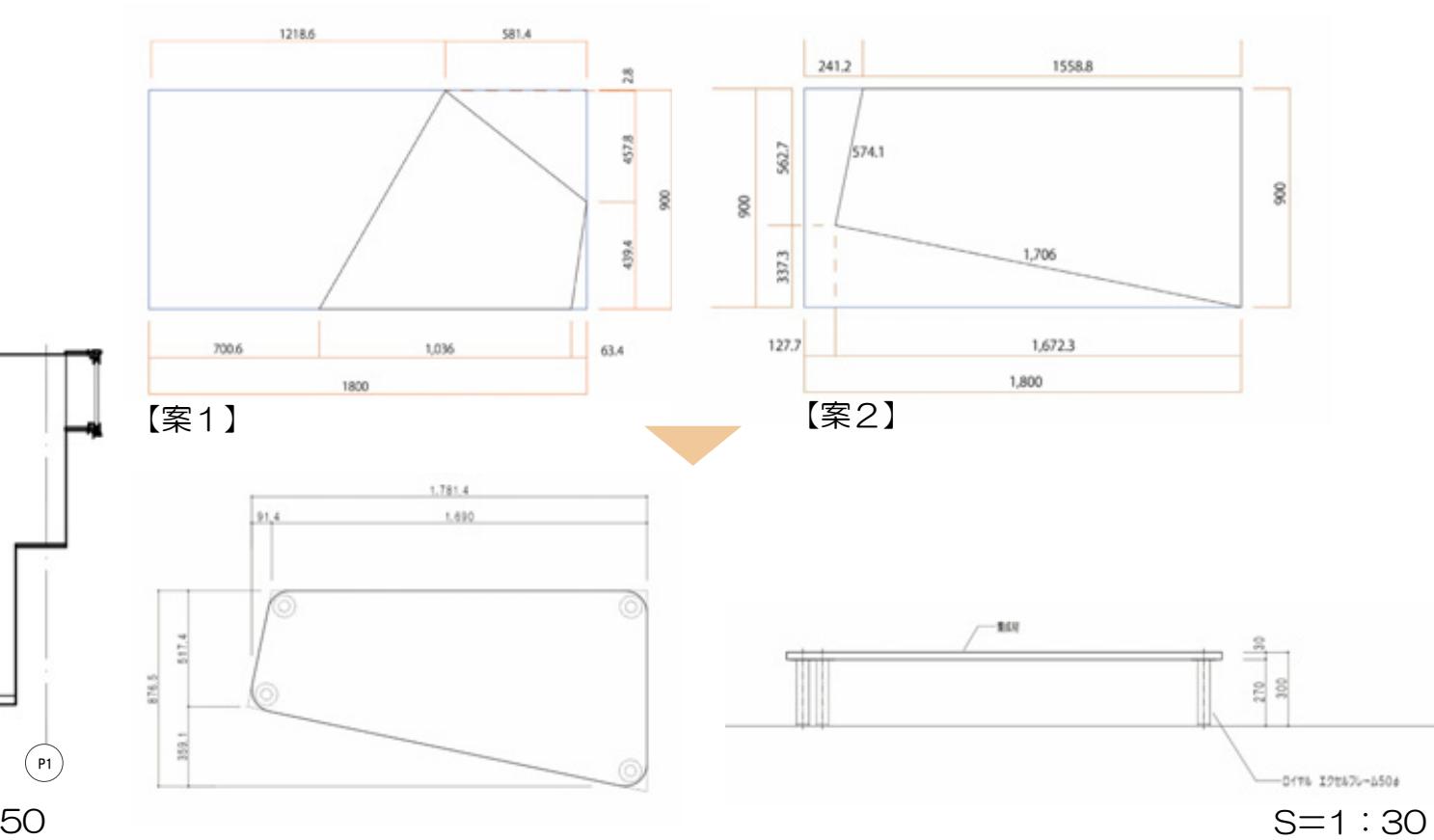
0-1歳は、汚物室にW2347.5×D300×H18mmのポリ合板を図面通りに設置し、収納する。

2歳は、直結のトイレのライニングの上に収納する。



■ローテーブルについて

各保育室で子どもたちが使用するローテーブルの形状を提案した。第2回WSにおいて、先生方との話し合いの結果、この形状のローテーブルは1Fの階段下のホールで使用することになった。

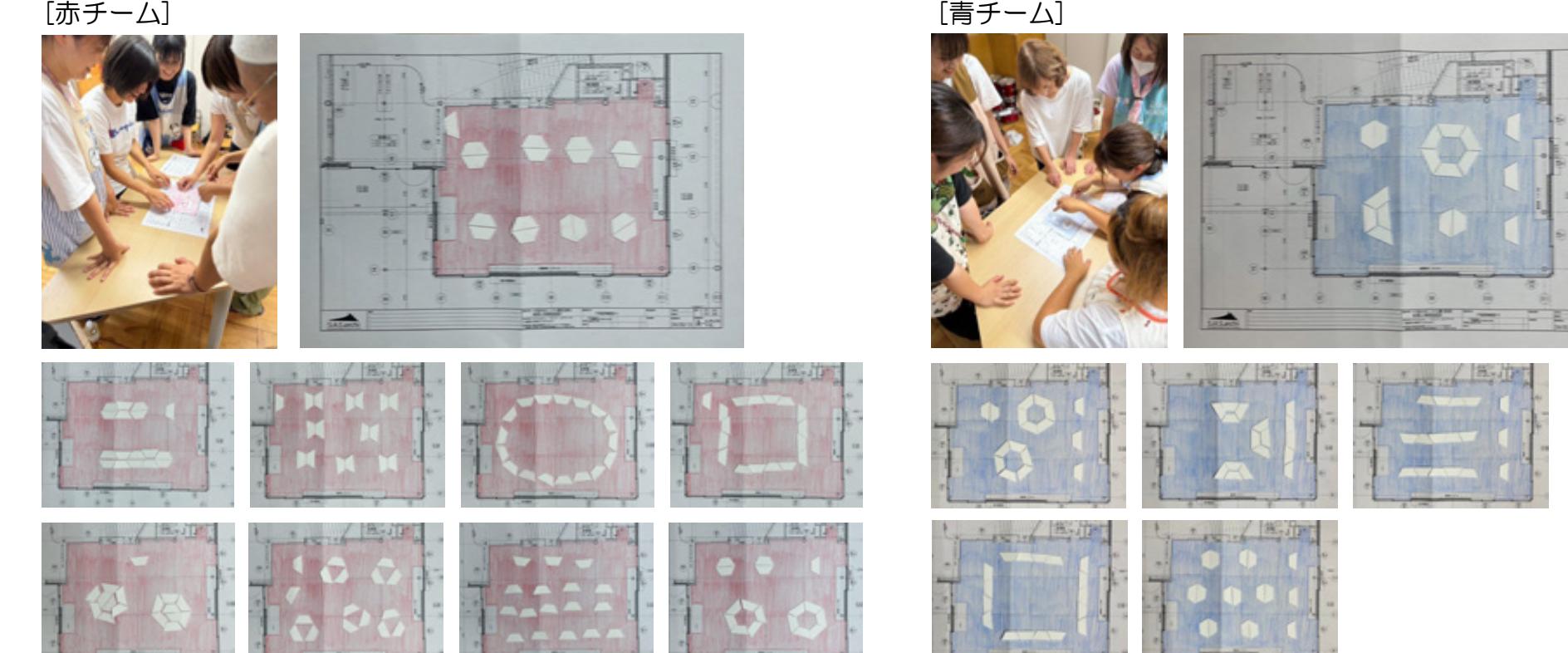


■台形並べゲームの企画

台形並べゲームとは、先生方が事務室で用いる作業用台形テーブルを平面図上で並べて遊ぶゲームのことである。このゲームを企画した理由は、台形の座る辺や、組み合わせ方によって形状が変わるので、様々なレイアウト変更に対応できるようにしたかったためである。第2回ワークショップの際に実施し、こども園の先生方（計13名）に2チームに分かれて取り組んでいただいた。

[ルール]

- 制限時間内に、どちらのチームがより多くの台形のレイアウトを考えられるかを競う。
- 17個の台形を使い切ることで1レイアウトとする。
- すべての台形が事務室の中に収まるようにすること。
- 配置は異なっていても、同じ形状を入れ替えただけの場合は、カウントしない。



■サイン計画

0-1,2,3,4,5歳の保育室と、時間外保育室の計6つのサインを計画した。

【概要】

- 材料:ヒノキ板 (t30×W200×H200mm)
- 固定方法:マグネットテープ (仮) (W15×150mm)

→園を運営していく中で、保育室の配置変更が行われても良いように、取り外しができるようにしてある。

→園を運営していく中で、保育室の配置変更が行われても良いように、取り外しができるようにしてある。

【クラスの名前と色について】

5歳	ゆり	黄緑
4歳	たんぽぽ	黄
3歳	さくら	赤
2歳	みかん	オレンジ
1歳	りんご	赤
0歳	いちご	赤
時間外	そら	青

【最終提案について】

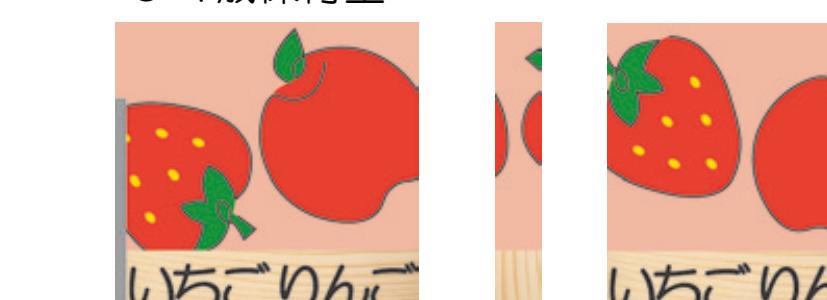
- 全ロゴに「△」があることと、年齢ごとにロゴの数を増やすことで統一感を出した。
- ロゴが全て同じ配置にならないようにした。
- ロゴの背景は、トーンを上げたクラスカラーにした。



	C	M	Y	K
a	3	35	33	0
b	0	0	0	90
c	0	87	80	0
d	80	20	100	0
e	0	15	100	0

イメージ図

O-1歳保育室



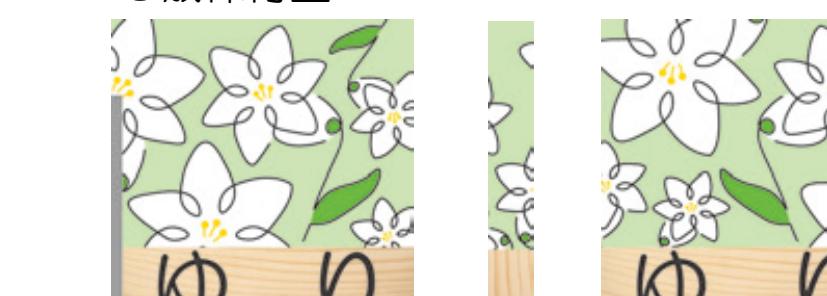
4歳保育室



2歳保育室



5歳保育室



3歳保育室



時間外保育室



■子どもたちの居場所の創出

【やりたいこと】

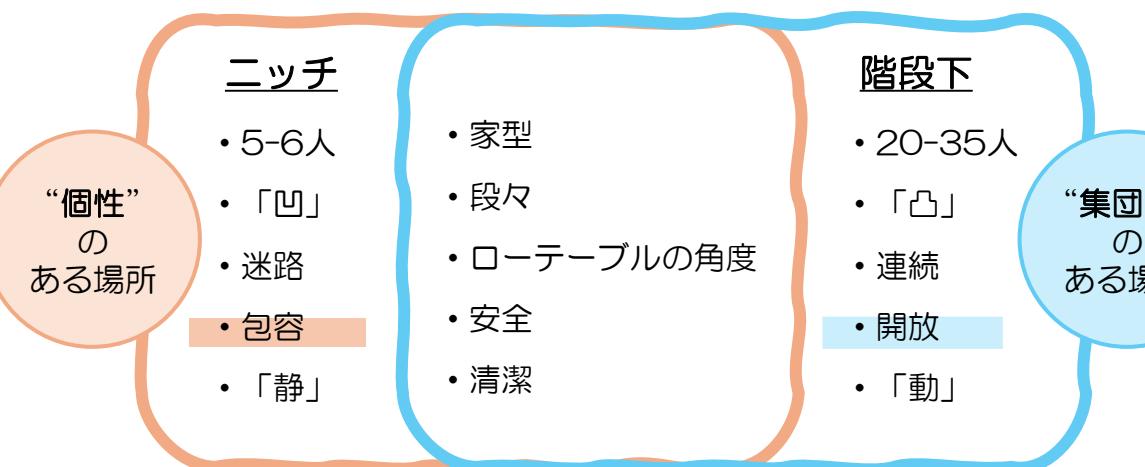
子どもの行動特性を活かした家具づくり 一様な用途のある遊具みたいな家具→遊ぶときは「遊具」、遊ばないときは「家具」となる。
→子どもたちにとって居場所となるような空間を目指す。

【この考えに至った背景】

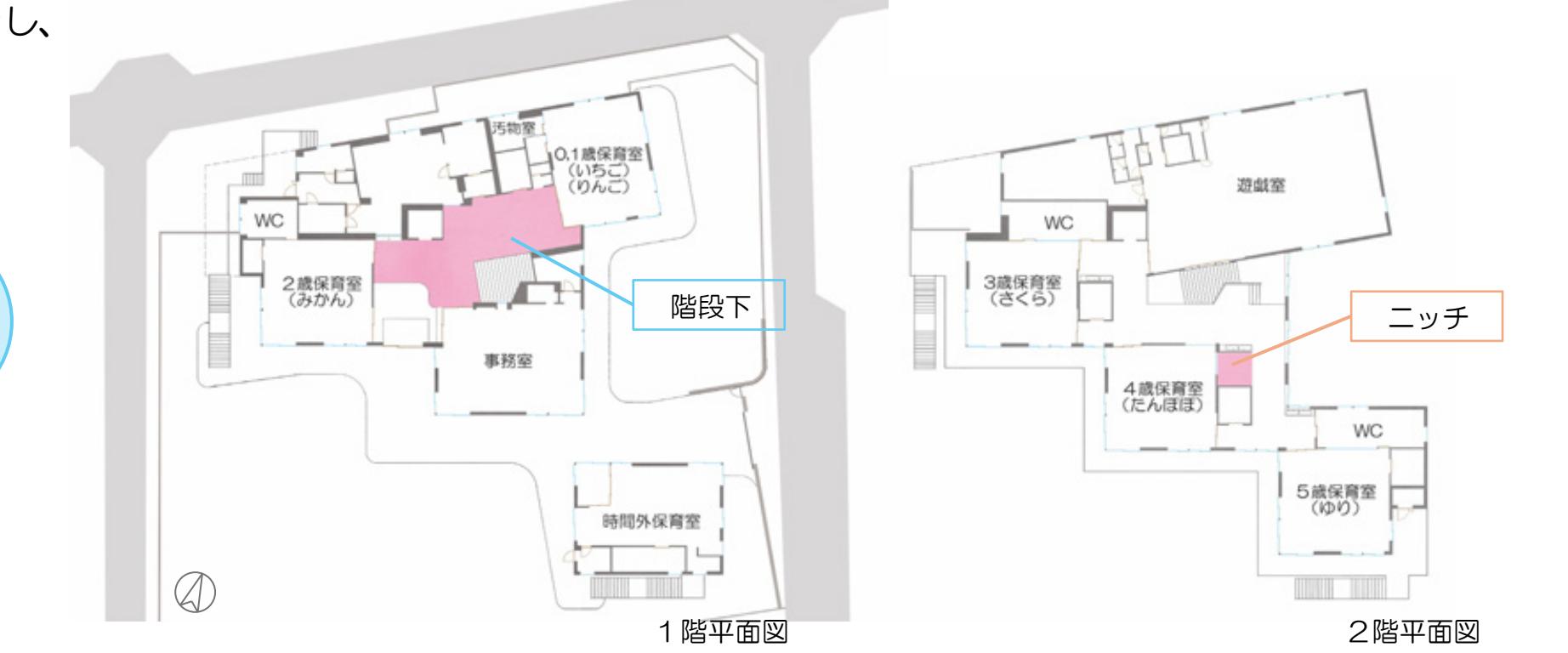
こども園での行動観察や、子どもに関する情報収集をしている中で、子どもの遊びを作り出す才能に着目したから。

【デザインコードの抽出】

ニッチと階段下を「子どもたちが寄り添う居場所」として定義し、以下の通りにデザインコードを見つけ出し、設計した。

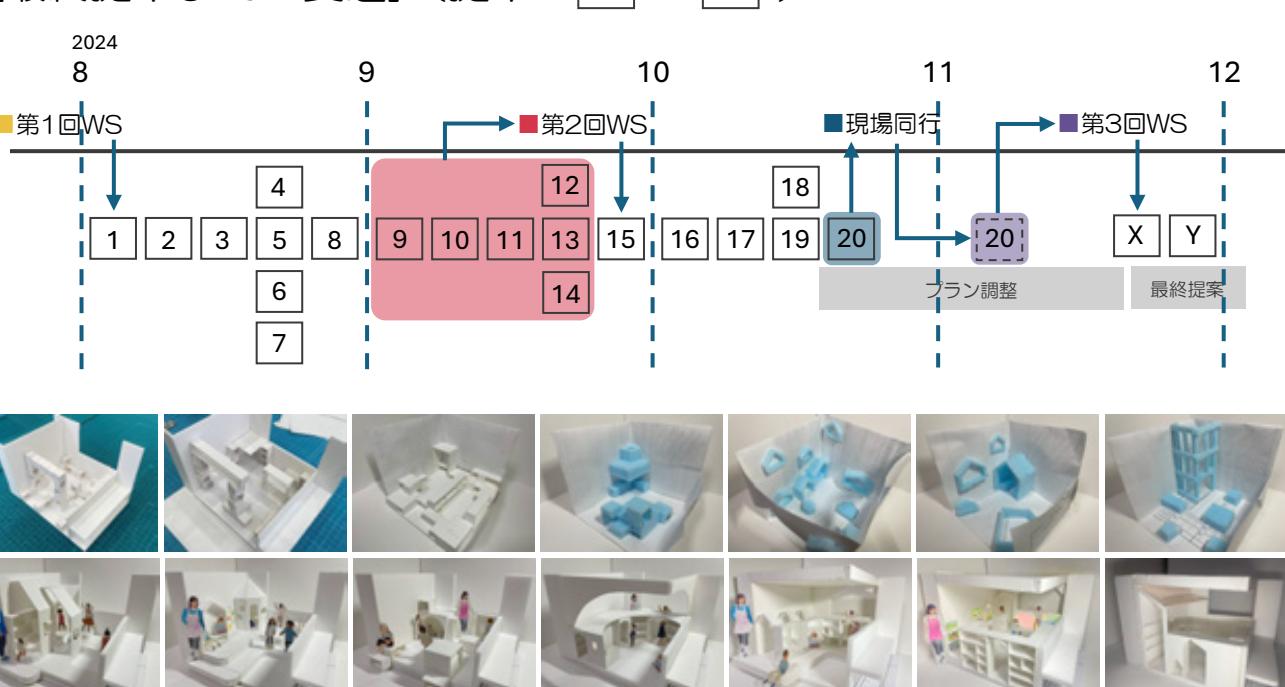


【ニッチと階段下の場所】

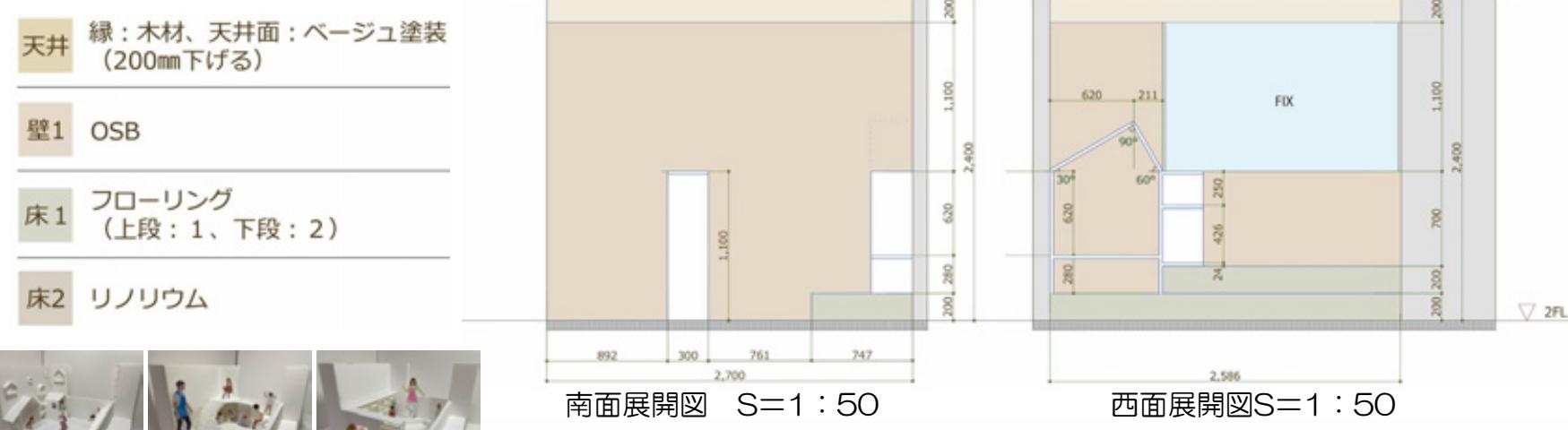


■ニッチ

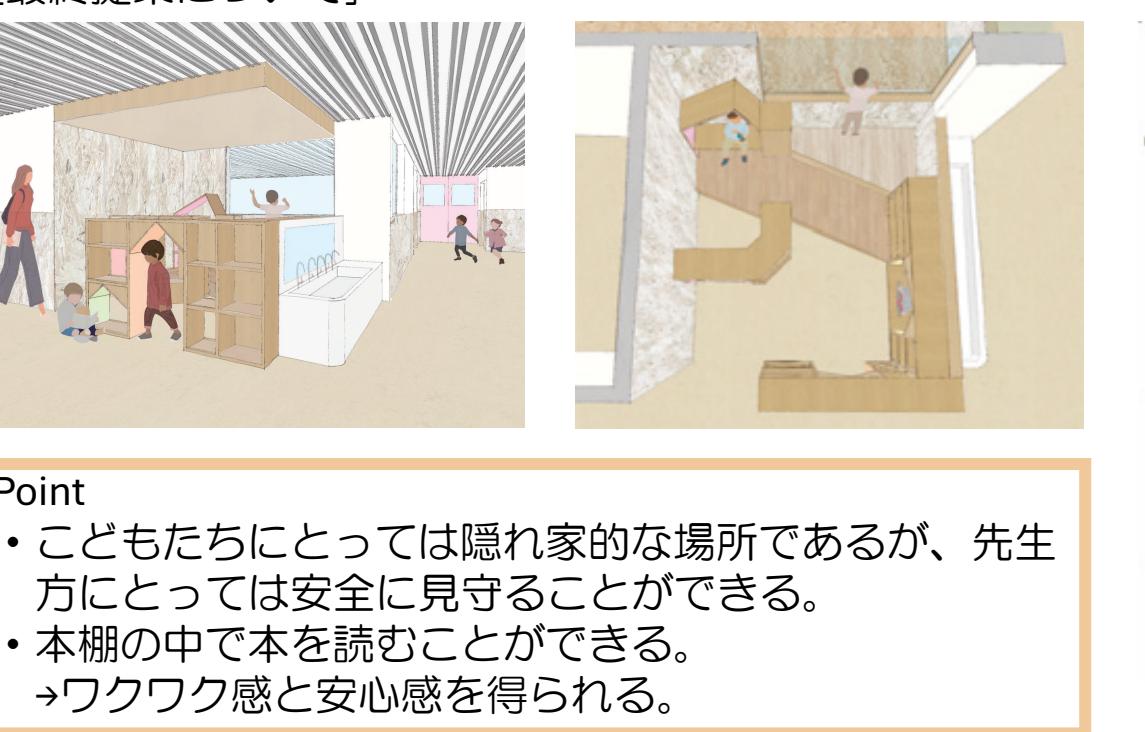
【最終提案までの変遷】(提案: 1 ~ 20)



【仕上げについて】

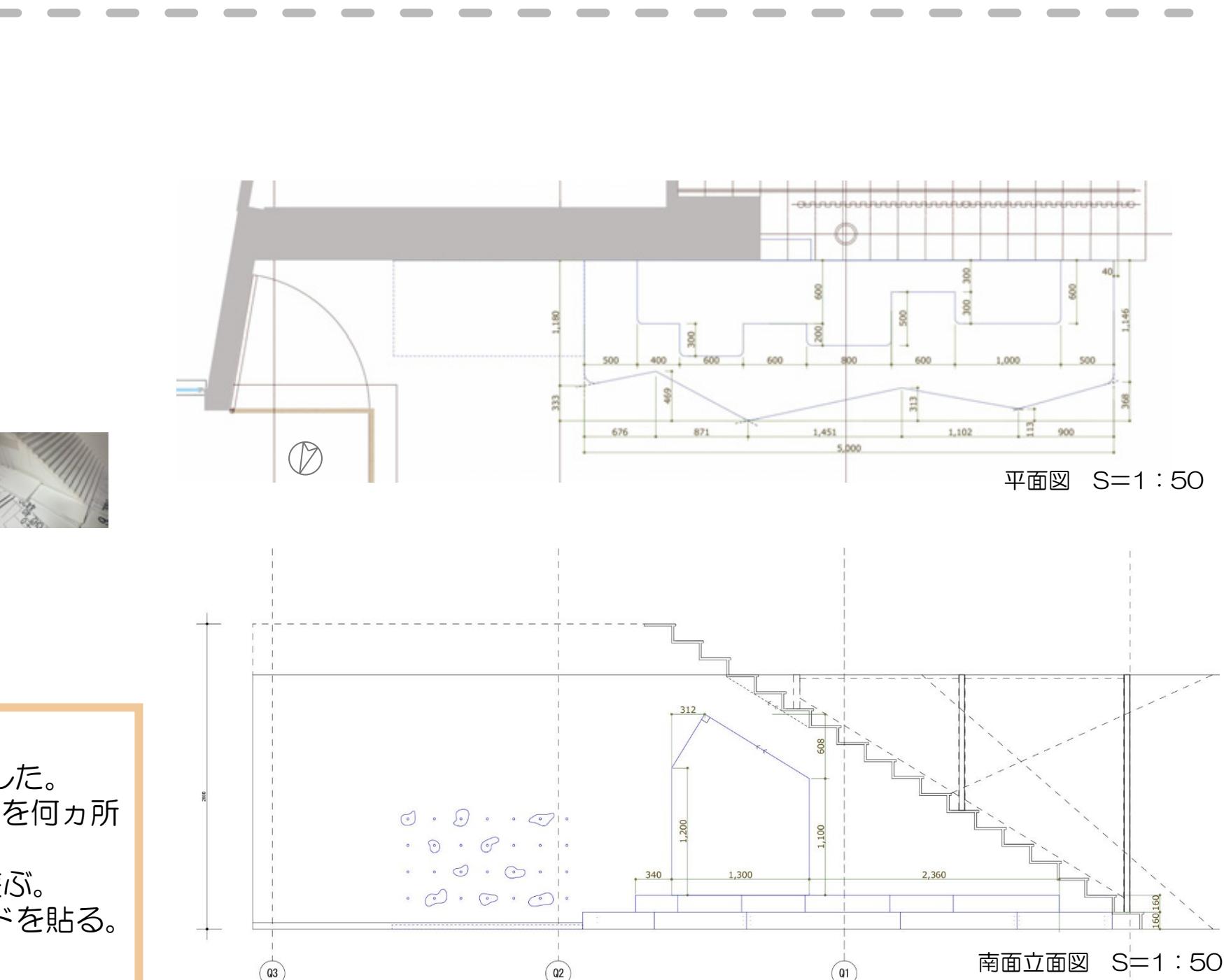
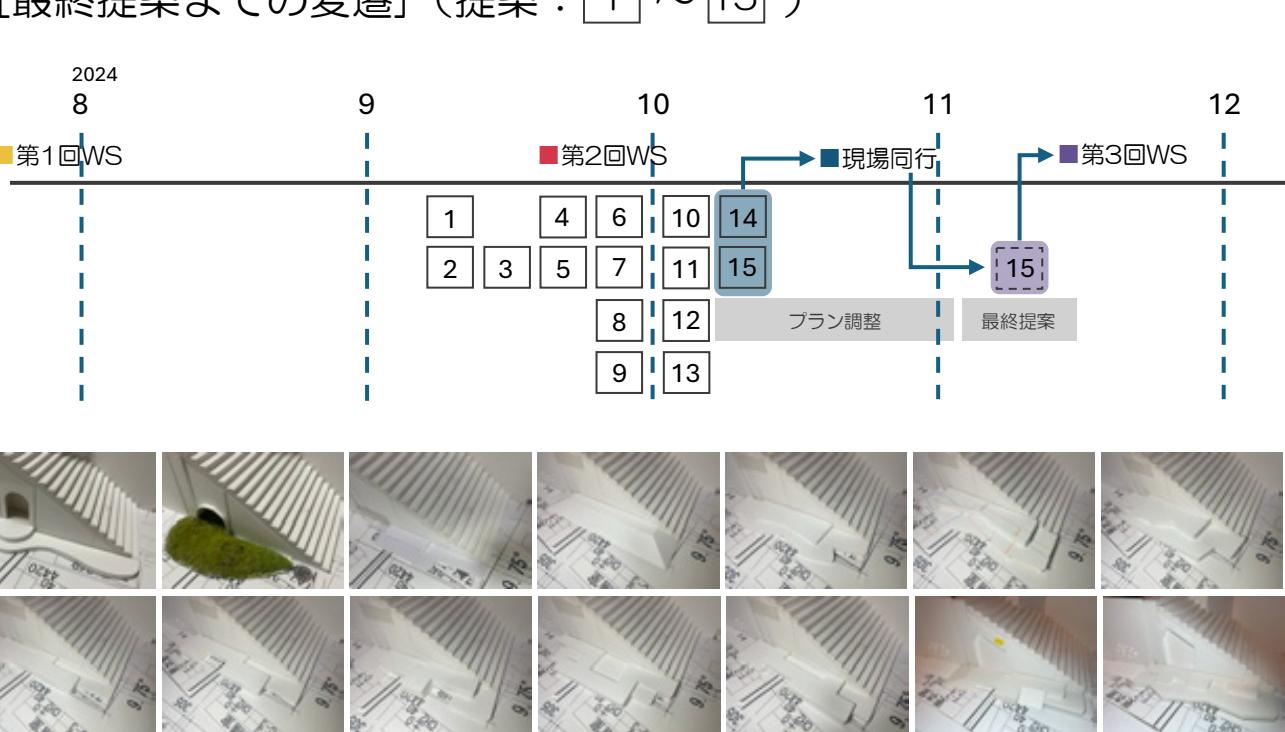


【最終提案について】



■階段下

【最終提案までの変遷】(提案: 1 ~ 15)



【最終提案について】

